

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

・財団第4回理事会及び第2回定時評議員会の開催	P 1
・都市地下空間活用研究会評議員会及び総会の開催	P 2
・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 第42回評議員会及び第26回通常総会の開催	P 3
・都市地下空間活用研究会・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議記念講演会の開催	P 3
・平成25年度土地活用モデル大賞募集のご案内	P 5
・機構の活動状況	P 6

§ 財団第4回理事会及び第2回定時評議員会の開催

○理事会

去る6月4日、第4回理事会を都市計画会館会議室において開催いたしました。

当機構理事長挨拶、国土交通省松井技術審議官の来賓挨拶の後、下記の議案が審議され、原案どおり議決、承認されました。

また、下記の報告事項についての報告がありました。

当日の議題は以下のとおりとなっております。

議 案1. 平成24年度事業報告(案)及び決算(案)について

議 案2. 公益目的支出計画実施報告書(案)について

議 案3. 理事の推薦について

議 案4. 評議員の推薦について

議 案5. 顧問の委嘱について

議 案6. 第2回定時評議員会の招集について

報告事項1. 賛助会員の状況について

○定時評議員会

去る6月24日、第2回定時評議員会を都市計画会館会議室において開催いたしました。当機構理事長挨拶、国土交通省樺島審議官の来賓挨拶の後、下記の議案が審議され、原案どおり議決、承認されました。



また、下記の報告事項についての報告がありました。

当日の議題は以下のとおりとなっております。

議 案 1. 平成 24 年度事業報告（案）及び決算（案）について

議 案 2. 公益目的支出計画実施報告書（案）について

議 案 3. 理事の選任について

議 案 4. 評議員の選任について

報告事項 1. 平成 25 年度事業計画及び予算について

報告事項 2. 基本財産を定める件

報告事項 3. 顧問の委嘱について

報告事項 4. 賛助会員の状況について

§ 都市地下空間活用研究会評議員会及び総会の開催

去る 6 月 5 日の 14 時から、地下研の第 27 回評議員会がアルカディア市ヶ谷の妙高（7F）で開催されました。

黒川会長が議長をつとめられ、第 1 号議案平成 24 年度事業報告及び収支決算（案）は、事務局より報告・説明後、東京ガス（株）塩入英治監事から、5 月 29 日に東京地下鉄（株）の小西真治監事とともに行った会計及び業務監査の結果について報告があり、審議の結果、原案通り承認されました。

続いて、第 2 号議案平成 25 年度事業計画及び収支予算（案）について、事務局より説明があり、審議の結果、原案通り承認されました。

また、第 3 号議案会費の改正（案）について、事務局より資料に基づき説明があり、出席評議員が了解されました。

なお、議事録署名人には、鹿島建設（株）の浦嶋評議員、大成建設（株）の金井評議員が選出されました。

○総会

去る 6 月 5 日の 14 時 30 分から、地下研の第 26 回定時総会がアルカディア市ヶ谷の伊吹（6F）で開催されました。

はじめに、黒川洸会長の挨拶、国土交通省都市・地域整備局都市計画課の菊池雅彦施設計画調整官のご挨拶をいただきました。

議事に入り、定数確認ののち、黒川会長が議長（会規約第 24 条）に選出されました。

第 1 号議案平成 24 年度事業報告及び収支決算（案）は、事務局より報告・説明後、東京地下鉄（株）の小西真治監事から、5 月 29 日に東京ガス（株）塩入英治監事とともに行った会計及び業務監査の結果について報告があり、審議の結果、原案通り承認されました。続いて、第 2 号議案平成 25 年度事業計画及び収支予算（案）について、事務局より説明があり、審議の結果、原案通り承認されました。



総会で挨拶される黒川会長



続いて、第3号議案会費の改正（案）については、事務局より資料に基づき説明があり、全員異議なく承認されました。

その他議事では、分科会等の報告書、地下研の活動成果、収集資料の活用状況について説明を求められ、自治体をはじめ提案等を含む成果の活用依頼が多くなっている旨、事務局から説明を行いました。また、国土強靱化基本法では、事前防災を重視した国土の強靱化等、地下研の活動テーマにふさわしいものも多くあり、事務局は来賓の国土交通省とも相談し、アドバイスをいただくようにとの示唆をいただきました。

なお、議事録署名人は（株）三菱地所設計の河合氏、大成建設（株）の原田氏が選出されました。

§ アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 第42回評議員会及び第26回通常総会の開催

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）では、6月5日にアルカディア市ヶ谷において第42回評議員会並びに第26回通常総会を開催しました。

評議員会では、当推進会議の黒川 洸 会長の開催の挨拶に続いて、オブザーバーとして出席された国土交通省都市局街路交通施設課 河野整備室長より来賓のご挨拶を、通常総会では、黒川会長の挨拶に続いて、国土交通省 松井技術審議官より来賓のご挨拶をいただきました。

ご挨拶に続いて、それぞれ各議案について審議いただき、第1号議案から第4号議案については事務局原案通りご承認をいただきました。

第5号議案の評議員の選任については、新評議員に上野 和彦氏が満場一致で承認されました。

評議員会・通常総会の議案

- 第1号議案 平成24年度事業報告（案）
- 第2号議案 平成24年度収支決算報告（案）
- 第3号議案 平成25年度事業計画（案）
- 第4号議案 平成25年度収支予算（案）
- 第5号議案 評議員の選任



§ 都市地下空間活用研究会・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 記念講演会の開催

都市地下空間活用研究会・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議の評議員会・総会に引き続き、アルカディア市ヶ谷にて記念講演会を開催いたしました。



東京工業大学特命教授並びに東京都市大学教授で、先進エネルギー国際研究センター長の柏木 孝夫様をお迎えして、「都市とエネルギー」と題してご講演をいただきました。

柏木先生は、エネルギー・環境システム、エネルギーシステム解析、冷凍・空気調和の分野がご専門で、政府の各種審議会の委員を歴任されています。また、2013年3月には、エネルギー基本計画の改定を議論する総合資源エネルギー調査会総合部会の委員、同部会の下に設けられた電力需給検証小委員会の委員長に就任され、ご活躍されています。

アベノミクスの成長戦略の要でもあるエネルギーに関する演題で会員の皆さまのご関心も高く、会場が満席になるほどの活況を呈する講演会となりました。



以下はご講演の要約です。

■電力システム改革

- ・電力システム改革は日本の成長戦略そのものである。
- ・今、我々がやらなければならないことは、都市エネルギーを中心に電力システム改革を通して、これからの都市エネルギーシステムのあり方をグランドデザインし、インフラパッケージとして海外展開すべき。

■広域性

- ・50Hz、60Hzの壁で、受給逼迫時に電力融通に制限がある。
- ・太陽光、風力等の再生可能エネルギーを系統へ導入するには、電圧・周波数を一定の範囲にしなければならず、これが難しい。
- ・技術的な観点を踏まえて国民の負担が少なく最も適切な導入量を進めることを考えるべき。
- ・デマンドサイドのデジタル化、広域系統運用により、電力の上昇コストの抑制、電圧、周波数を一定の範囲にすることが可能。

■公平性

- ・小売新規参入自由化で大きな市場が都市部を中心に拓けてくる。
- ・新規参入者にとって公平なルールで戦える担保が必要。
- ・現状、大規模集中型電力と分散型電力の比率は、96：4であるが、2030年代の早い時期には、都市部を中心にこれを70：30にもっていくべき。(15%：コジェネ(天然ガス、LP)、15%：太陽光、風力、バイオマス)

■ネットワーク部門の中立性

- ・2016年4月に、新規参入、電力の小売りを家庭部門も含めて自由化されると、エネルギーとインターネット(ICT)とが一体化するスマートコミュニティが形成されてくる。
- ・デジタル化により株式市場と同様な市場ができ、様々なビジネスモデルができてくる。
- ・2018年～2020年に、ネットワーク部門の中立、その1つの手段として発送電分離が提案されている。
- ・電力料金の規制が無くなる時期と発送電分離時期は一致する。

■今後どう変わるか

- ・今までのピークに合わせたオーバースペックのエネルギー受給システムが需要サイドに一部



移ってくる。(ピーク対応の電源がデマンドサイドの電源に移ってくる。)

- ・コジェネ・再生可能エネルギー等の出力が一定しないものを、デマンドサイドで ICT を利用して受給コントロールを行うようになる。
- ・ダウンサイジングの電力システムに移っていくことにより、それぞれの電源が適切（ピークを出さない）に稼働する時代がくる。これを実現するには、エネルギー容量密度の高い都市部でしかできない。

§ 平成 25 年度土地活用モデル大賞募集のご案内

都市みらい推進機構では、土地の有効活用や適切な維持管理に取り組み、土地活用の模範的事例、「成功モデル」となる事例を募集し、優れた事例について「国土交通大臣賞」をはじめとする表彰を行い、優れた土地活用を全国的に紹介しその普及を図ることを目的に、毎年「土地活用モデル大賞」を開催しています。

今年度も国土交通省後援により土地活用モデル大賞を開催いたします。

5月31日（金）に、第1回土地活用モデル大賞審査委員会を開催し、今年度の実施要領、募集要領および実施スケジュールを決定いたしました。

今年度の土地活用モデル大賞の実施スケジュールは以下のとおりとなります。

- ・エントリー締切 : 7月19日（金）
- ・応募締切 : 8月2日（金）
- ・1次審査 : 8月下旬
- ・1次審査結果公表 : 9月上旬
- ・現地調査 : 8月下旬～9月末
- ・最終審査 : 10月上旬
- ・表彰式 : 10月24日（木）

募集要領・応募書類一式は当機構の HP（下記の URL）から入手できます。

URL :

http://www.toshimirai.jp/tochi_model/tochi_model_2013.htm

土地活用の模範的事例、「成功事例」となる事例がありましたら、是非とも応募お願いたします。



平成25年度 土地活用モデル大賞 大募集!

主催：(一財)都市みらい推進機構
後援：国土交通省

土地活用モデルとなるプロジェクトを国土交通大臣賞などにより表彰します。

◎趣 意
活気に満ちた地域社会の実現・地域主権の推進を図るため、都市再生・構造改革特区・地域再生及び中心市街地の活性化を図るため、地域活性化の総合的・効果的取り組みを推進することが求められています。当機構では、こうした課題を踏まえて土地の有効活用や適切な維持管理に取り組み、土地活用の模範的事例、「成功モデル」となる事例を募集し、優れた事例について「国土交通大臣賞」をはじめとする表彰を行い、優れた土地活用を全国的に紹介し、その普及を図ります。

◎応募方法・募集要領の配布
募集要領に添付されているエントリー用紙にて、エントリー下さい。
受け付け番号のお知らせ後、応募申請書、応募図書各事務所までご応募下さい。
募集要領、応募の締切、記入要領は(一財)都市みらい推進機構にて用意しています。**当機構ホームページ**から入手できます。

◎募集内容・応募資格
社会・経済、地域の課題を認識し、その解決に際して、土地の活用・再活用・保安利用を図り、周辺地域の活性化や環境改善等に寄与している土地活用プロジェクトを募集します。
応募者は、土地活用に関与した事業者（法人、法人内のチーム）、NPO、任意団体（TMOなど）、個人、及び地方公共団体とします。

◎スケジュール

- エントリー締切：平成25年7月19日（金）
- 応募締切：平成25年8月2日（金）
- 1次審査：平成25年8月下旬
- 1次審査公表：平成25年9月上旬
- 現地調査：平成25年8月下旬～9月下旬
- 最終審査：平成25年10月上旬
- 表彰式：平成25年10月24日（木）

URL : http://www.toshimirai.jp/tochi_model/tochi_model_2013.html

◎表 彰

- ◆国土交通大臣賞 1点を予定
- ◆(財)都市みらい推進機構理事長賞 1点を予定
- ◆審査委員賞 概ね1～2点を予定

表彰の対象は「土地活用プロジェクト」とし、賞状及び受賞プロジェクト掲載に際しての証明を発行します。あわせて当機構ホームページで表彰プロジェクトとプロジェクト掲載者名を公表します。
受賞したプロジェクトは国土交通省オフィシャルサイト「土地活用情報ライブラリ」及び都市みらい推進機構ホームページにて各プロジェクトの詳細を紹介し、受賞プロジェクトについては、10月24日（木）に表彰式を行い、続いて行われる土地月間講演会にて事例発表をする予定にしております。

◎お問い合わせ先(事務局)

〒112-0014 東京都文京区関口1-23-6 プラザ江戸川ビル201号室
一般財団法人 都市みらい推進機構内 土地活用モデル大賞事務局
TEL : 03-5261-5625 FAX : 03-5261-5629
e-mail : kakaku@toshimirai.jp



§ 機構の活動状況

5月		6月	
15~17	自治体総合フェア 2013 出展	4	第4回理事会
17	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会	24	第2回定時評議員会
22	日経BP 社意見交換		
30	まちづくり情報交流協議会 企画運営委員会		
31	土地活用モデル大賞第1回審査委員会		

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

8	日本テレビ取材バンキシャ	4	国交省打合せ
9	千代田区打合せ	5	第27回評議員会、第26回定時総会、地下研・UIT 合同記念講演会
12	日本テレビ取材バンキシャ	7	理科大打合せ
13	フジテレビ取材	11	八重洲打合せ
13	地下研リーダー会	13	再開協議会打合せ
14	フジテレビ 特ダネ、国交省打合せ	21	国交省打合せ
14	虎ノ門コンサル打合せ	25	下水道打合せ
16	オリコン打合せ	27	第1回地下街等における安心避難対策検討委員会
17	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会。エンジニアリング協会打合せ		
20	企画委員会・企画小委員会合同会議		
20	八重洲・京橋・日本橋分科会		
27	千代田区打合せ		
27	取材 旅と鉄道		
29	地下研監査		
30	建設設備協会打合せ		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

8	監事監査	5	第42回評議員会、第26回通常総会、地下研・UIT 合同記念講演会
10	技術研究発表委員会		
15	技術交流部会及び展示委員会 企画運営部会		
17	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会		

《まちづくり情報交流協議会》

10	監事監査	14	まちづくりと景観を考える全国大会 (まち交大賞国土交通大臣賞)
30	企画運営委員会		

(一財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6
プラザ江戸川橋ビル201号

電話 03-5261-5625

FAX 03-5261-5629

Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他